

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年2月28日時点)

➤ **ウクライナ軍の東部(ドネツク州)及び南部(ザポリヅジャ州)における攻勢が停滞する一方、露軍は、東部(ドネツク州及びハルキウ州)で攻勢を強めるとともに、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を強化している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

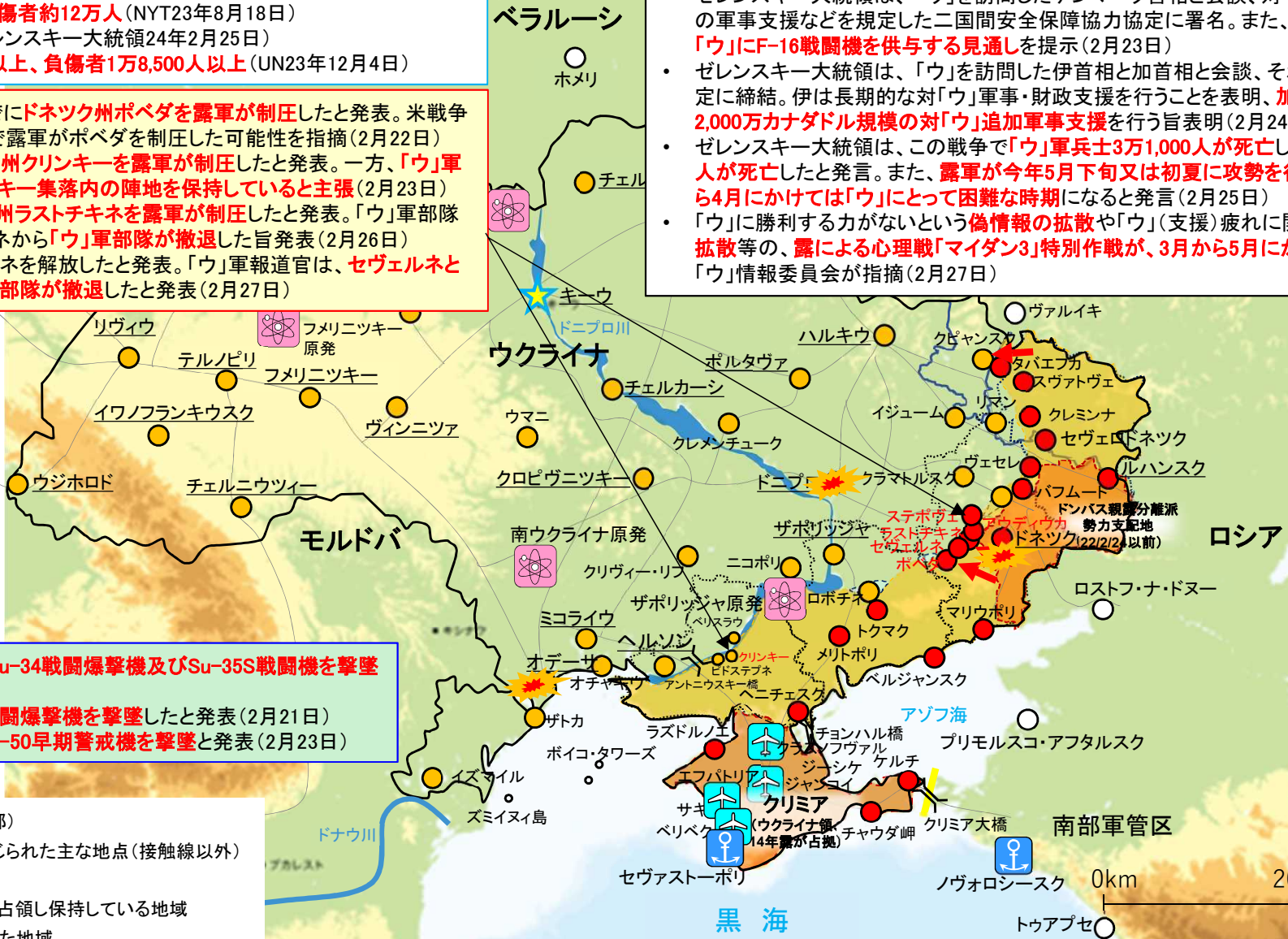
「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

- 露国防省は、21日までにドネツク州ポベダを露軍が制圧したと発表。米戦争研究所は、21日時点で露軍がポベダを制圧した可能性を指摘(2月22日)
- 露国防省は、ヘルソン州クリンキーを露軍が制圧したと発表。一方、「ウ」軍南部司令部は、クリンキー集落内の陣地を保持していると主張(2月23日)
- 露国防省は、ドネツク州ラストチキネを露軍が制圧したと発表。「ウ」軍部隊報道官は、ラストチキネから「ウ」軍部隊が撤退した旨発表(2月26日)
- 露国防省は、セヴェルネを解放したと発表。「ウ」軍報道官は、セヴェルネとステポヴェから「ウ」軍部隊が撤退したと発表(2月27日)

- 「ウ」空軍報道官は、露による侵略開始以来、露軍ミサイル8,000発以上と無人機4,630機が「ウ」に飛来したとした上で、このうち3,605機の無人機を撃墜したと発表(2月22日)
- ゼレンスキー大統領は、「ウ」を訪問したデンマーク首相と会談、対「ウ」軍事支援18億ユーロの軍事支援などを規定した二国間安全保障協力協定に署名。また、同首相は今年夏までに「ウ」にF-16戦闘機を供与する見通しを提示(2月23日)
- ゼレンスキー大統領は、「ウ」を訪問した伊首相と加首相と会談、それぞれと安全保障協力協定に締結。伊は長期的な対「ウ」軍事・財政支援を行うことを表明、加は、2024年中に30億2,000万カナダドル規模の対「ウ」追加軍事支援を行う旨表明(2月24日)
- ゼレンスキー大統領は、この戦争で「ウ」軍兵士3万1,000人が死亡した一方、露軍兵士は18万人が死亡したと発言。また、露軍が今年5月下旬又は初夏に攻勢を行う準備をしており、3月から4月にかけては「ウ」にとって困難な時期になると発言(2月25日)
- 「ウ」に勝利する力がないという偽情報の拡散や「ウ」(支援)疲れに関するフェイクニュースの拡散等の、露による心理戦「マイダグ3」特別作戦が、3月から5月にかけてピークを迎える旨、「ウ」情報委員会が指摘(2月27日)



- 「ウ」空軍は、露軍のSu-34戦闘爆撃機及びSu-35S戦闘機を撃墜と発表(2月19日)
- 「ウ」空軍は、Su-34戦闘爆撃機を撃墜したと発表(2月21日)
- 「ウ」空軍は、露軍のA-50早期警戒機を撃墜と発表(2月23日)

- 主要都市(下線は州都)
- ★ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ★ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ★ ウクライナ軍が奪還した地域

国土地理院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等